

## モノプラス、全社的な統合在庫管理基盤を実現する モノ・マネジメント・サーバーの中核製品をリリース

モノプラス株式会社

モノプラス株式会社(本社:静岡県静岡市葵区、代表取締役:山本裕之、以下 モノプラス)は、経営者から業務の現場まで幅広い利用者の用途に応じた在庫情報の活用と環境の創出、物流業務の現場において効率よく在庫を運用するための全社的な統合在庫管理基盤を構築するために開発されたミドルウェア「モノ・マネジメント・サーバー」の中核製品、「monoplus Database」と「monoplus Server」の Version 1.0 を、2009年09月01日にリリースしたことをお知らせいたします。

なお、本製品は昨年6月に設立した弊社の最初のリリース製品となります。

企業の利益を最大化するために在庫を効率的に運用するモノ・マネジメント・サーバーは、これまでの実行系システム WMS (Warehouse Management System)による拠点毎の点による管理から面(時間と空間)による管理を実現することによって、これまで以上に効率的な在庫運用の実現と、在庫に関する問題の早期検出、さらに一元的な在庫管理システム基盤として永続的に活用し続けることを可能にするソリューションとして設計・開発されており、業務を実行する現場の担当者から戦略的な意志決定を行う経営者まで、全社で活用できるリアルな在庫情報をリアルタイムに提供し、経営者の迅速な意志決定や現場の効率的なオペレーションの実現を強力に支援いたします。

### ◆モノ・マネジメント・サーバーの特徴

- 企業の在庫を可視化
- 在庫一元化に必要な情報基盤
- 在庫の効率的な運用を支援するモノ・マネジメント

### ◆モノ・マネジメント・サーバーを構成する各製品の主な役割

- 各種システム連携  
モノの誕生することがわかった時点から、そのモノの管理が不要になるまでの情報(発注～入荷、受注～納品等)をWebAPIやデータベースAPIを用意して、既存のシステム資産を活かすハイブリッドなシステム構築を可能にします。
- 過去・現在・未来在庫の管理  
モノの存在を情報化した独自の管理構造は、モノの過去・現在・未来を作り上げ、さらに情報をもつ時間制約を活用することで、より効率的な在庫運用を可能にするとともに、在庫に潜む多くのリスクを低減させることを可能にします。
- より早く在庫の異常を検知する  
在庫の過剰・過少・ばらつきは往々にして発生します。また、輸送の遅延や早着により起きる問題も多々あります。これらを防止するためのAPIとは別に、在庫に関する異常の発生を検知する機能(サービス)を提供します。
- いまの在庫を全社規模で共有  
各地域における在庫の情報を階層化することで全社規模での情報共有を可能にします。全社規模での情報共有は組織間情報流通の最適化するとともに、個々が全体の状況を認識することによって個人の業務スピードと質を向上させます。

- システムの開発からメンテナンス保守の最適化

これらの在庫運用を支えるシステムの構築に対して、全社規模で在庫を一元化するAPIやツールを提供することで短期間でシステムの構築とメンテナンスの最適化をはかります。

◆モノ・マネジメント・サーバーを構成する主要なミドルウェア

- monoplus database
- monoplus server
- monoplus archive※
- monoplus alert※
- monoplus ware※
- monoplus tools※
- monoplus utility※

※今回のリリース対象には含まれておりません。次バージョン以降にて、順次リリース予定です。次期リリースは2010年01月を予定しています。

なお、製品の詳細な情報については下記URLに随時情報を公開する予定です。

<http://www.monoplus.com/productservice/products>

お問い合わせにつきましては、下記URLに用意しておりますお問い合わせフォームからお願い致します。

<製品に関するお問合せ先>

<http://www.monoplus.com/contact/productcontact>

<本プレスリリースに関するお問合せ先>

<http://www.monoplus.com/contact/othercontact>